

「病院の待合で看護師さんが呼ぶ声が聞こえない」

「補聴器を着けていても、医師の話が理解出来ない」

そんな皆さんに集音器・Choju(聴寿)で不便から解放されて欲しい



1983年11月、株式会社エースエンジニアリングを設立。国内外の電子機器開発設計を行い、ヒット作を多数生み出す。これまで培った技術を使い、「耳の遠い方を助けたい」という思いから2016年5月、株式会社エース・E&Lを新たに設立。集音器「Choju(聴寿)シリーズ」を商品化し、社会貢献に務めている。

(聴寿)は、田舎に住む高齢者が、遠くまで出かけなくとも、通販で買って、自分で調整して使えるように作ったものだからです。補聴器は専門店などで、対面販売で購入し、その後、認定補聴器技能者によって度々調整することが必要です。その点、Choju(聴寿)は集音器ですから、自分でカスタマイズしていくんです。

鼓膜周辺に異常があつても
聴覚神経のほうまで
音を届ける

補聴器は、主に耳かけタイプと耳穴タイプがありますが、これらは、電池容量が小さくて長時間持たない上に、パワーが小さいという欠点があります。Choju(聴寿)はイヤホンを使用するタイプの集音器で、本体は外付けのため、電池が大きく、パワーも十分。鼓膜のあたりに異常があつても、音が聴覚神経のほうまでしっかりと届くので、聞こえが戻ります。

お客様の笑顔が私たちの喜び 多くの方に使っていただきたい

病院で補聴器を使っても、聞こえは回復しないでしょうと断られた方が、どこかで私たちの商品を知って買いに来られることがよくあります。80代、90代のお客様が、ご自身で来社され、病院では断られたけれど、Choju(聴寿)を使って、聞こえが戻ったと仰られます。聞こえにくいことがいかに生活を制限してしまうか、その方が聞こえを取り戻した時、どれだけ嬉しいか、どれだけ生活が豊かになるか……。ひとりでも多くの「聞こえない」皆さんに、集音器「Choju(聴寿)」で不便から解放されて欲しい。それが私たちの願いであり、お客様が喜んでくれることが、私たちにとっても何よりの喜びです。

集音器である強みは
自分で調整出来るところ

音を集めて増幅して、耳に届ける

——基本的な概念は集音器も補聴器も一緒です。違いは、医療機器として認定されると補聴器を名乗れることがあります。そして、集音器のChoju(聴寿)は医療機器の認定はあえてとつていません。何故ならChoju

数の高い音、低い音、それぞれの聞こえをよくする調整機能があります。周波数が低い音というのは、クルマや空調などの耳障りな音。周波数が高い音というのは、女性の声など。高齢者は周波数が高い音が聞こえにくい。奥様や娘さんの声が特に聞き取りにくいという方は、周波数に耳が追いついていないということです。Choju(聴寿)は周波数を

うに調整することが出来ます。また、

ご主人の声と息子さんの声 似た声の聞きわけも可能に

オのアナログの技術を採用していくまでは、Choju(聴寿)は高級オーディオに耳が追いついていないといふことでした。だから、自然でまろやかな音が聞こえが戻ったと仰られます。聞こえにくいくらいに生活を制限してしまうか、その方が聞こえを取り戻した時、どれだけ嬉しいか、どれだけ生活が豊かになるか……。ひとりでも多くの「聞こえない」皆さんに、集音器「Choju(聴寿)」で不便から解放されて欲しい。それが私たちの願いであり、お客様が喜んでくれることが、私たちにとっても何よりの喜びです。

試聴無料

Choju(聴寿)
5万円(税別)



株式会社エース・E&L
代表取締役

津田博通

Hiromichi Tsuda

——基本的な概念は集音器も補聴器も一緒です。違いは、医療機器として認定されると補聴器を名乗れることがあります。そして、集音器のChoju(聴寿)は医療機器の認定はあえてとつていません。何故ならChoju

うに調整することが出来ます。また、

ご主人の声と息子さんの声 似た声の聞きわけも可能に

オのアナログの技術を採用していくまでは、Choju(聴寿)は高級オーディオに耳が追いついていないといふことでした。だから、自然でまろやかな音が聞こえが戻ったと仰られます。聞こえにくいくらいに生活を制限してしまうか、その方が聞こえを取り戻した時、どれだけ嬉しいか、どれだけ生活が豊かになるか……。ひとりでも多くの「聞こえない」皆さんに、集音器「Choju(聴寿)」で不便から解放されて欲しい。それが私たちの願いであり、お客様が喜んでくれることが、私たちにとっても何よりの喜びです。